

「国際経済論」研究室

担当教員：進藤優子

研究室電話番号：083-928-3482

Email：shindo@yamaguchi-pu.ac.jp

オフィスアワー：金曜日 3-4 時限

本研究室では、国際的な視野に立ち、貿易、金融、政治、貧困、環境などの社会問題を経済学的な分析手法を用いて研究を行います。具体的には、3 年生前期に、貿易や金融など国際経済の主要な問題から、一見経済学と関係のなさそうな社会問題まで、ゼミ生の興味・関心に合った文献を読むことで、経済学的な分析手法を修得していきます。そして、それらの文献などに基づき、卒業論文の研究テーマを見つけます。3 年生後期には、卒業論文の書き方および文献調査やフィールドワークといった調査方法を学習します。そして、それぞれの研究テーマに合った調査方法を検討します。4 年生では、調査および論文の執筆を進めるとともに、発表会でのプレゼンテーションの仕方を学びます。

【ゼミで使用した本】

- 橘木俊詔 (2006) 『格差社会—何が問題なのか』岩波新書 (2011 年度)
- 日引聡・有村俊秀 (2005) 『入門 環境経済学—環境問題へのアプローチ』中公新書 (2012 年度)
- 大竹文雄 (2010) 『経済学的思考のセンス—お金がない人を助けるには』中公新書 (2013 年度)

【2012 年度のゼミ生の卒業論文テーマ】

- 山口県立大学生の幸福度—アンケート調査による現状分析—
- 顧客満足度の高い企業とは—オリエントランドの事例から—
- 中国入試制度の問題—日本の制度から学ぶ—
- No Kill —人と動物がともに生きる社会とは—
- なぜアメリカのホームレスは増え続けるのか—イギリスから学ぶ支援施策—
- TPP に参加することが日本の農業再生につながるか